

Japanese Patent Laid-open Publication No. HEI 9-270048 A

Publication date : October 14, 1997

Applicant : Toppan Forms Co., Ltd.

Title : PAYMENT PROCESSING METHOD USING PAYMENT SLIP

5

(57) [ABSTRACT] (Amended)

[OBJECT] The invention is suitable for payment processing system which is carried out using a payment slip on which information of a payer is previously printed, image such  
10 as bitmapped image is registered, the payment of the payer is reliably confirmed from a payment slip which is again output.

[SOLVING MEANS] When payment procedure is carried out using a payment slip, a payer code comprising at least a bar code  
15 B1 and the like is read by a code reader, and the payer code and payment procedure data are registered together with image data of the payment slip which is electronically read, and a payer code comprising a bar code B2 whose payment procedure specification slip is registered in a receiver's account  
20 owner and the payment procedure data are printed by a predetermined font together with the image data and sent to a receiver.

[0007] Fig.3 shows a state in which payment slip information  
25 is printed on a payment slip F by a printer connected to

a computer. As the payment slip information, the following items are previously printed: a receiver's account number 15, a receiver's name 16, receiver's address and name 17, a communication notice 18, a payment amount 19, and payer code B1. Among the payment slip information, the receiver's account number 15 and the receiver's name 16 are pre-printed by a printer or the like as fixed information. The receiver's address and name 17, the communication notice 18 and the payment amount 19 are printed with a predetermined font and the payer code B1 is printed with a predetermined bar code font as variable data corresponding to each payer. The payment slips F formed in this manner are previously sent to respective payers.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-270048

(43) 公開日 平成9年(1997)10月14日

(51) Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 7 D 9/00	4 3 6		G 0 7 D 9/00	4 3 6 B
G 0 6 F 19/00			G 0 6 F 15/30	H
				3 6 0

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平8-103828

(22) 出願日 平成8年(1996)3月30日

(71) 出願人 000110217

トッパン・フォームズ株式会社

東京都千代田区神田駿河台1丁目6番地

(72) 発明者 永田 健

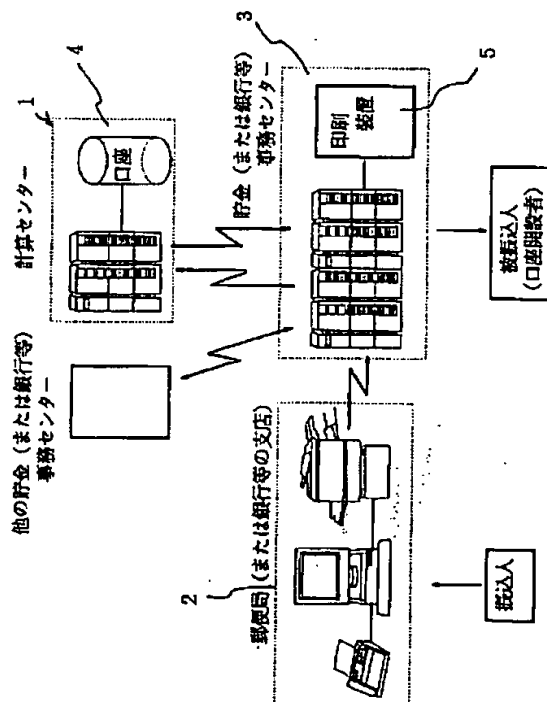
神奈川県座間市入谷4-3011-6

(54) 【発明の名称】 振込み帳票を用いた振込み処理方法

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 振込人情報があらかじめ振込票に印字されたものを使用して処理を行う振込み処理システムに適し、ビットマップ等のイメージ登録され、再度出力された振込票から確実に振込人の振込み確認処理が行えること。

【解決手段】 振込票によって振込み処理が行われる際、少なくともバーコードB1等からなる振込人コードは、コード読取装置により読み取られ、振込人コードと振込処理データをテキストデータで、電子的に読み取られる振込票のイメージデータとともに登録し、さらに振込先口座開設者に振込処理明細票を登録されているバーコードB2等からなる振込人コードと振込処理データは所定のフォントにより、振込票のイメージデータとともに印刷し被振込人に発送する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 振込み先の口座番号、口座名、振込み金額、振込人、振込み受付け印等の欄を有する振込み帳票にあらかじめ振込み先の口座番号、口座名および所定のフォントからなる振込人のコードを含む振込人情報をあらかじめ印刷して振込人に配布し、振込人が金融機関で振込み処理を行う際、金融機関は、振込み処理データと振込み帳票のイメージデータを登録し、払い込み明細票を前記振込み処理データと振込み帳票のイメージデータが一体とした明細票の形態で印刷され、振り込み先口座開設者に通知される振込みシステムに使用される振込み帳票を用いた振込み処理方法であって、この振込み帳票によって振込み処理が行われる際、少なくとも振込人コードは、コード読取装置により読み取られ、振込人コードと振込処理データをテキストデータで、電子的に読み取られる振込票のイメージデータとともに登録し、さらに振込先口座開設者に振込処理明細票を登録されている前記振込人コードと振込処理データは所定のフォントにより、前記振込票のイメージデータとともに印刷して発送する振込み帳票を用いた振込み処理方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、郵便局や銀行などの金融機関等で、振込み先名、振込み先口座番号、振込み金額、振込人情報があらかじめ振込み帳票に印刷（プリンタ等の印字を含む）されたものを使用して処理を行う振込み処理システムに適した振込み帳票を用いた振込み処理方法に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、郵便局や銀行などの金融機関等で振込み処理される際、振込人があらかじめ振込み先名、振込み先口座番号、振込み金額、振込人情報としての住所氏名、および通信事項を記入して行っているが、通信販売や各種サービスの債権者が取引料金を請求する場合、債権者である口座開設者が振込み帳票にあらかじめ振込み先名、振込み先コード、振込人の住所、氏名、コード、振込金額等をあらかじめ印刷しておくことにより、振込処理の迅速化および請求金の回収率を高めている。また、振込み票は、振込み票本体と振込み受領書とが一体となっており、受領書（またはこの写し）は、振込み処理の際、振込み票本体と分離されて、振込人に渡される。一方、振込み票本体は、振込み処理後、口座開設者に送付される。

【0003】 ところが近年、金融機関では処理量が増加し、処理の迅速化、振込み票の保管管理事務の効率向上のため、振込み処理の際、振込み処理データをキーボード入力およびOCR入力し、振込み票は、ビットマップデータからなるイメージデータとして電子的に読み取り、振込み処理データと振込み票のイメージデータをリンクして登録し、従来、口座開設者に送付される振込み

票本体を登録済みのイメージデータから印刷出力して送付することが試みられている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、口座開設者がイメージデータとして受けとる振込み票は、イメージの読み取り時、および出力時の精度により、口座開設者があらかじめ振込み票本体にOCR、バーコード等で印刷しておいた機械読取り用の振込人コードが読取り装置で読取りできなくなってしまう事故が発生し、振込人の振込み確認処理に支障を来してしまう等の問題がある。この発明は、郵便局や銀行などの金融機関等での振込み処理に際し、振込人情報があらかじめ振込み帳票に印字されたものを使用して処理を行う振込み処理システムに適し、ビットマップ等のイメージ登録され、再度出力された振込み票から振込人コードを確実に機械読取りが行え、確実に振込人の振込み確認処理が行える振込み帳票を用いた振込み処理方法を提供することを目的とするものである。

## 【0005】

20 【課題を解決するための手段】 上記目的を解決するため本発明の振込み帳票を用いた振込み処理方法は、振込み先の口座番号、口座名、振込み金額、振込人、振込み受付け印等の欄を有する振込み帳票にあらかじめ振込み先の口座番号、口座名および所定のフォントからなる振込人のコードを含む振込人情報をあらかじめ印刷して振込人に配布し、振込人が金融機関で振込み処理を行う際、金融機関は、振込み処理データと振込み帳票のイメージデータを登録し、払い込み明細票を前記振込み処理データと振込み帳票のイメージデータが一体とした明細票の形態で印刷され、振り込み先口座開設者に通知される振込みシステムに使用される振込み帳票を用いた振込み処理方法であって、この振込み帳票によって振込み処理が行われる際、少なくとも振込人コードは、コード読取装置により読み取られ、振込人コードと振込処理データをテキストデータで、電子的に読み取られる振込票のイメージデータとともに登録し、さらに振込先口座開設者に振込処理明細票を登録されている前記振込人コードと振込処理データは所定のフォントにより、前記振込票のイメージデータとともに印刷して発送するようにしたものである。

## 【0006】

【発明の実施形態】 以下、本発明を好適な実施例に基づいて詳細に説明する。図1は、金融機関としての郵便局（または銀行等）の振込み処理システムの概念説明図であり、図2は、振込み先の口座開設者が顧客である振込人の振込み確認を行う確認システムの概念説明図、図3は、あらかじめ本発明で使用する振込票に振込票情報をコンピュータに接続した印刷装置により印刷した状態を示す平面説明図、図4は、郵便局から口座開設者に送付される振込処理明細票の平面説明図、図5は、図1の郵

便振込み処理システムにおける振込票データの処理の流れを示すフロー説明図である。

【0007】図3は、振込票Fに振込票情報をコンピュータに接続した印刷装置により印刷した状態を示すもので、振込票情報としては、振込先口座番号15、振込先名16、振込人住所・氏名17、通信事項18、振込金額19および振込人コードB1があらかじめ印刷されている。これら振込票情報のうち振込先口座番号15、振込先名16は固定情報として印刷機等によりプレ印刷されるとともに振込人住所・氏名17、通信事項18、振込金額19は、所定のフォントで、また振込人コードB1は、所定のバーコードフォントで各振込人に対応する可変データとして印刷されてなるものである。そして、このようにして作成された振込票Fは、各振込人にあらかじめ送付される。

【0008】このようにして振込人は、送付されてきた振込票Fを郵便局に持参し、振込処理を行うと貯金事務センターより図4に示すような振込明細票Mが発行され被振込人（口座開設者）に送付される。この振込票Fには、振込処理された時の処理データとして、振込先口座番号21、取扱日（処理日）22、取扱局23、振込金額24、料金（振込手数料）25等がテキストデータで、また、各振込人に対応する振込人コードB2は、所定のバーコードフォントで印字されるとともに振込票のイメージデータ30（点線内）がビットマップデータで印字出力される。26、27は、問い合わせの整理番号となる「お問い合わせ番号」と、問い合わせ先の「お問い合わせ電話番号」である。

【0009】金融機関として、例えば図1は郵便局の郵便振込システム1示すもので、この郵便振込システム1は、振込人があらかじめ振込票記入欄に所定の情報が印字（印刷）されたものを郵便局2に持参し、現金の振込処理を行う。郵便局2では振込票の口座番号等はOCR読取し、金額等の処理データを入力するとともに振込票のイメージを読取り振込処理を行う。振込票処理のデータは、口座番号、処理日時、処理郵便局等処理データがテキストデータで、及び振込人コードB1をコード読取装置で読み取りテキストデータで、振込票のイメージデータとがリンクされて貯金事務センター3に転送される。

【0010】貯金事務センター3では、さらに口座データを管理する計算センター4にデータを転送したり集計データを受けて、振込票処理データを編集し、前述した図4で示されるような振込明細票を印刷装置5で印刷され被振込人に送付される。また貯金事務センター3は、管轄範囲ごとのデータ集計のために他の貯金事務センターとのデータ交換が行われる。

【0011】図5は、図1の郵便振込み処理システムにおける振込票データの処理の流れを示すフロー説明図であるが、振込み時は振込人のコードをバーコードB1か

ら読み取り、コードデータとして入力（ステップ311）するとともに、振込先口座番号21、取扱日（処理日）22、取扱局23、振込金額24、料金（振込手数料）25等の振込処理情報が入力される（ステップ312）。また、振込人情報のイメージを読取り（ステップ313、振込み処理情報の入力を終了する。処理郵便局から貯金事務センターへのデータ転送は、振込人コードと処理データ、及び振込人情報のイメージデータをリンクして転送（ステップ320）する。貯金事務センターと計算センターとのデータ処理は、振込人情報と処理データの転送、登録は、互いにリンクして行われ、被振込人への口座に入金処理される（ステップ330）。貯金事務センターからの振込（払込）明細票出力、送付処理は、図4に示したように振込人情報のイメージデータと振込処理データ等を編集して単票に表示出力される（ステップ340）。この際、重要なことは、振込票Fに印刷されるバーコードB1等からなる振込人コードが所定のバーコードフォントで印刷される点である。

【0012】口座開設者に送付された振込明細票Mは、図2で示されよう口座開設者が顧客である振込人の振込み確認を行う確認システムで処理されるが、この確認システムは、入力部7、表示部9、制御部8、印刷装置11、顧客ファイルを有する記憶部12等からなる一般的なコンピュータシステムであって、制御部8にはインターフェイス10を介して、振込明細票Mに表示されたバーコードB2を読み取るバーコードリーダー13が接続されている。また制御部8には、あらかじめ各振込人に対応づけられたバーコードから振込人を検索し、振込確認処理を行う顧客管理プログラムが組み込まれている。

【0013】このようにして貯金事務センターから受領した振込明細票Mに二次元バーコードで表示された振込人（顧客）コードを順次読取り、払い込み処理が終了した振込人データを入力する。

【0014】なお、上記実施例において本発明は、振込処理方法において、金融機関としての振込処理システムを郵便振込システムとして説明したが、銀行の振込システムに採用してもよいものであって、口座開設者に送付される振込（払込）明細票に、振込票がビットマップデータで読取られイメージデータで再度出力されるシステムに採用される場合に適している。また、振込人コードは、バーコード以外に電子的にコード読み取り可能であれば、OCR文字や他のコードデータであってもよい。

【0015】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の振込み帳票を用いた振込み処理方法は、各振込人に対応づけられたバーコード等で振込票に振込人コードを印字（印刷）しておくとともに、金融機関が振込票のイメージを読取り、また振込人コードデータをコードで登録し、イメージが再出力される振込み明細書の一部に登録済みの振込

5

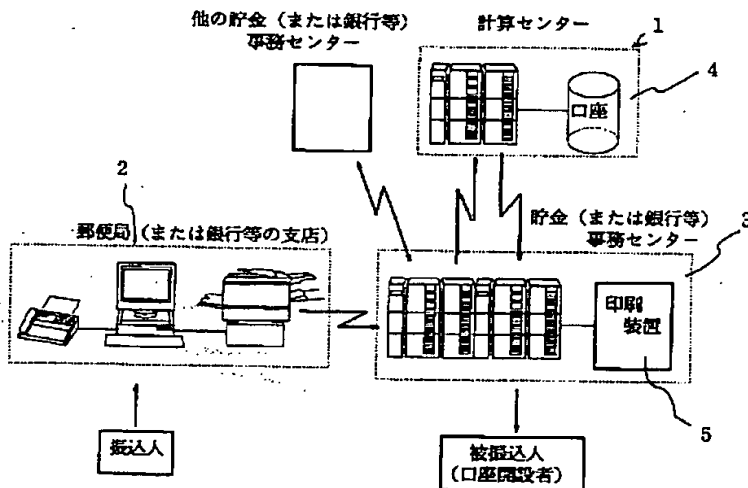
人コードデータを所定のフォントからなるコードデータとして出力するので、振込み明細書を受領した被振込人は、振込人コードを確実に読み取れ、振込人を迅速に確定できる。これにより、払い込み処理が終了した振込人データの入力処理の効率が向上し、通信販売や各種サービスの債権者が取引料金を請求する場合等の顧客管理が確実なものとなる。

【図面の簡単な説明】

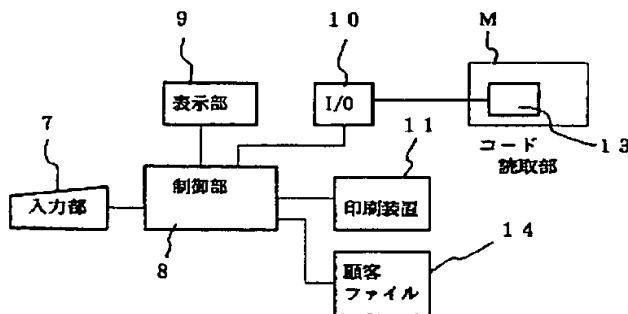
【図1】本発明に適用される、郵便振込み処理システムの概念説明図。

【図2】本発明の振込処理に適用される、振込人の振込み確認を行う確認システムの概念説明図。

【図1】



【図2】



6

【図3】本発明で使用する振込票に振込票情報をコンピュータに接続した印刷装置により印刷した状態を示す平面説明図。

【図4】郵便局から口座開設者に送付される振込処理明細票の平面説明図。

【図5】図1の郵便振込み処理システムにおける振込票データの処理を示すフロー説明図。

【符号の説明】

- 1 郵便振込処理システム  
10 B1, B2 バーコード  
F 振込票  
M 振込明細票

【図4】

口座番号	0127-3-5047
取扱日	平成9年10月31日
取扱局	御茶ノ水 ×××××
振込金額	7,300円
料金	110円

払込取扱票

0127 3 5047 7300

〇〇〇〇株式会社

年会費 5000円  
書籍代金 2300円  
合計 7300円

〇〇〇〇様

日付印

123456-1234 03-xxxx-0001

【図 5】

